

2011年4月4日【2011年度第2号】

東葛病院 震災復旧 ニュース

発行：東葛病院 社保・平和・地域活動委員会山縣

ばばちゃんが行くなら僕も行く

友の会義援金カンパ活動



オオタカの森駅に赤塚幹事の「皆さまの暖かい支援を承りますようお願いします」の声。

今日4月2日は東葛健康友の会の震災支援行動日です。土曜日とあって人出は上々。「まだまだ、被災地は寒い日が続きます。東葛健康友の会は東葛病院と協力して被災者支援の募金活動をおこなっています」今日は幹事の他にも一般の会員さんも飛び入り参加。また木村幹事は孫の広人君（12歳写真左上）を連れて参加しました。広人君は困っている人には何かしなくてはと、被災地で『ランドセルが不足している』との話をきいて、近所の

卒業生たちと不用になったランドセルを集めて岩手に送りました。今日も「ババちゃんが行くのなら僕も行く」と言って募金活動に初参加。

広人君はお金を入れてくれる人がいると、とても嬉しかった、と感想を語っていました。

中学生も次々と

駅を通る中学生も「僕、お金が無いけど10円なら持っている」と・・・「カンパは金額ではなく、みなさんの気持ちです」と言うと並んで中学生が次々にカンパを寄せてくれました（田村幹事）

「今日は比較的若い女性がカンパしてくれました。中には一度通り過ぎ、また兄弟で戻ってきてカンパをしてくれる人など、家族の暖かな気持ちを感じました。今日もやっけて自分の心がとても温かくなりました」（池谷幹事写真右下）

今日は15人参加で1時間の募金活動でしたが53,073円の寄付金が寄せられました。寄付金は東葛病院の寄付金とあわせ後日、全日本民医連経由で被災地に送られます。

